



取扱説明書

シチズン上腕式血圧計

CHUC515

- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。
- 取扱説明書および電子化された医療機器添付文書に従わない使用がなされた場合および勝手に何らかの修理、改造、分解、再調整がなされた場合について、製造販売業者は一切の責任を負うことができませんのでご注意ください。
- 本製品の使用目的は、健康管理のため、収縮期(最高)血圧および拡張期(最低)血圧を測定することです。



1. 本体および付属品

以下の物がそろっているかご確認ください。

- **本体**
表示部の透明シールをはがしてお使いください。
- **カフ(腕帯)**
型式: SCN-011D
- **単3形アルカリ乾電池4本(モニター用)**
- **取扱説明書/保証書**

2. 安全上のお願い

ご使用前に、この「安全上のお願い」をよくお読みください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

注意 人が傷害を負ったり、物的損害*の発生する可能性が想定される場合

*物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

- **強制** 必ず実行していただく「強制」内容です。
- **禁止** してはいけない「禁止」内容です。

警告

- 測定部位の血流が少ない方、血管脈の弱い方、不整脈の頻度の高い方は測定できないことがあります。その判断は医師によります。使用前に必ず医師に相談してください。
- 医師の指導を受けてご自身で測る場合があります。医師の指示に従い正しく測定しましょう。
- 測定結果の自己判断、および治療は危険です。必ず医師の指導に従ってください。→ 自己判断は、病気の悪化につながるおそれがあります。
- 心臓疾患、その他循環器疾患、重度の血行障害のある方、ペースメーカーをご使用の方や乳腺切除した方は、医師の指導に従ってください。→ 体調不良をおこすおそれがあります。
- 電池の液が目に入った、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。→ けがなどの原因になります。
- 傷などの未治癒の腕にカフ(腕帯)を巻かないでください。→ 症状を悪化させるおそれがあります。
- 点滴静脈注射や輸血をおこなっている腕にカフ(腕帯)を巻かないでください。→ けがや事故をおこすおそれがあります。
- 電気メスなど電気手術器やMRI、CTスキャナーなど他の医療機器がある場所で使わないでください。→ 事故や誤作動の原因になります。
- 病院内の麻酔ガスなど可燃性ガスの近くで使用しないでください。→ 引火の可能性があります。

警告

- 病院内の高圧酸素室や酸素テント内など高濃度酸素下では使用しないでください。→ 発火の可能性があります。
- 乳幼児の手の届くところに保管しないでください。→ エアホースプラグや乾電池など小さい部品を飲み込んだり、エアホースが首に絡まったりして、窒息や事故、けがの原因になります。
- 分解・修理・改造をしないでください。→ 事故やけがのおそれや、本体が故障する原因になります。

本製品は電磁妨害(EMD)に関して、特別な注意が必要です。必ずEMD技術資料に記載されたEMD情報にもとづいて使用してください。

- 携帯および移動無線周波(RF)通信機器により、影響を受けることがありますので、30cm以上離して使用してください。
- 他の機器に密着させたり、重ねた状態で使用しないでください。
- アクセサリー/オプション品は、弊社の指定品を使用してください。指定品以外のアクセサリー/オプション品を使用すると電磁放射波(エミッション)が増加したり妨害に対する免疫ユニティが低下したりすることがあります。

注意

- 気温40℃以上または10℃以下の環境に血圧計を保管した場合は、使用環境範囲内の気温に2時間以上置いてからご使用ください。→ 誤作動の原因になります。

- 乳幼児や意思表示ができない方へのご使用はおやめください。→ 事故やけがの原因になります。
- 下記の状態や症状をお持ちの方は、医師の指導に従いご使用ください。
 - 一般的な不整脈(心房性・心室性期外収縮、心房細動など)
 - 動脈硬化症 ・ かん流不良 ・ 糖尿病 ・ 腎臓疾患
 - 妊娠中や妊娠性高血圧腎症(妊娠中毒症)
 - 乳腺切除した方 ・ 血管内挿管や動静脈シャントのある方
 - 未成年の方
 → 正しく測定できないことがあります。
- 同梱のカフ(腕帯)以外は使用しないでください。→ 誤測定や誤作動の原因になります。
- 他の医療機器と併用しないでください。→ 誤作動の原因になります。
- カフ(腕帯)を巻いた側の腕や手に装着した医療機器がある場合、カフ(腕帯)の加圧によって医療機器の機能に一時的な影響をおよぼすおそれがあります。
- 長期的な血流障害などを起こさないように腕の状態を確認し、異常の発生を感じたときは直ちに使用を中止してください。→ 事故やけがの原因になります。

● 血圧測定以外に使用しないでください。→ 事故やけがの原因になります。

● 古い電池と新しい電池、種類のちがう電池を同時に使用しないでください。電池の⊕ ⊖の向きを間違えないようにしてください。→ 漏液、発熱、破裂などをおこし、本体が破損する原因になります。

● 本体に無理な力を加えたり、落としたりしないでください。→ 故障の原因になります。

● 本製品は在宅での自己血圧測定に使用するものです。不特定多数の被験者が対象となる医療機関・公共の場所で使用しないでください。

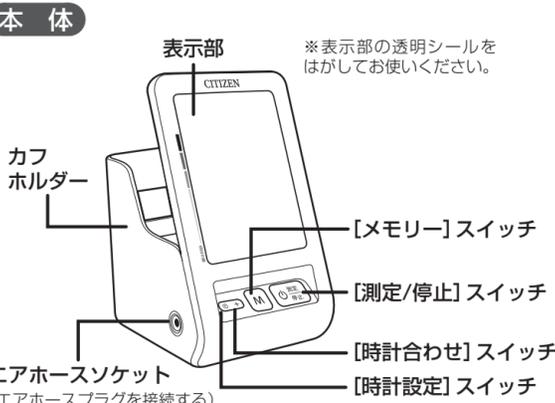
製品に表示されているシンボルの意味

- 安全にお使いいただくため、取扱説明書を必ずお読みください。
- BF形装着部

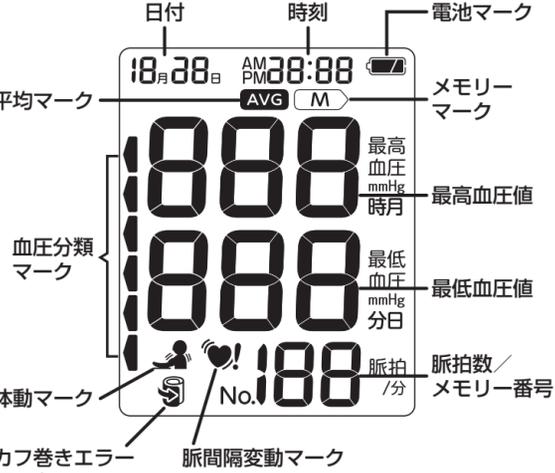
3. 測定時の注意点

- 測定前に5～6回深呼吸をし、5分以上安静にしてから測定してください。緊張時や、精神状態が不安定なときは、血圧が安定しません。
- 睡眠不足や便秘のとき、または運動や食事の後でも血圧は高くなります。
- 飲酒の後や入浴直後には測定をおこなわないでください。
- 尿意や便意があるときは、排尿や排便をすませてから測定してください。
- 20℃前後の室温で測定してください。寒さは血圧を上昇させます。
- コーヒーや紅茶などを飲んだり喫煙した直後は、正しい値が得られません。
- 連続して測定をおこなわないでください。上腕がうっ血して正しい値が得られません。必ず間隔(1分以上)をあけてから測定してください。
- 正しい姿勢で安静にして測定してください。カフ(腕帯)を心臓の高さに保ち、腕を動かしたり、話をしないでください。正しい姿勢が難しい場合はいつも同じ姿勢で測定してください。
- エアホースを折り曲げた状態で使用しないでください。カフ(腕帯)から空気が抜けず、血流障害を起こすおそれがあります。
- 血圧は長期のデータを見ることが大切です。お薬(血圧を下げる薬など)を服用した時間も考慮して、一日のうちで最も安定した状態が保てる時間帯を選んで、毎日できるだけ同じ時刻に測定しましょう。
- 測定中に体に異常を感じたり、気分が悪くなったりした場合には、使用を中断して医師の指導を受けてください。

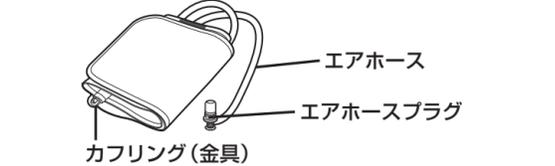
4. 各部のなまえと機能



表示部
●表示



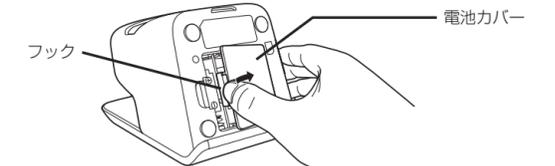
カフ(腕帯)
型式: SCN-011D
※適用腕周範囲: 22cm～32cm



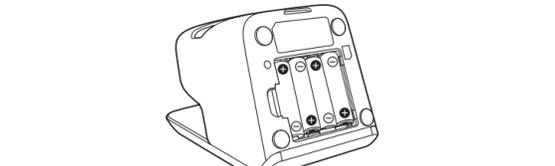
※カフ(腕帯)は消耗品です。カフ(腕帯)の寿命は約2,000回[1日6回(朝夜各3回)の測定で約1年]です。カフ(腕帯)が汚れたり、破損や空気漏れするなどして新しくお求めになる場合は、弊社お客様相談室(0120-88-6295)でお受けします。

5. 電池を入れましょう

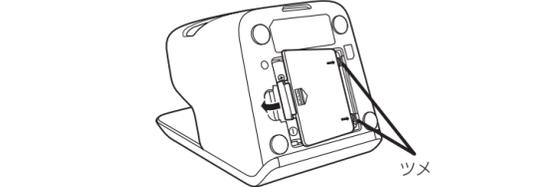
① 電池カバーを外します
フックに指をひっかけ、手前に引くようにして開けます。



② 電池を入れます
⊕ ⊖を間違えないように必ずバネの出ている ⊖ 側から入れてください。



③ 電池カバーを閉めます
ツメをくぼみに合わせ、「カチッ」と音がするまで電池カバーを閉めます。



④ 時計を合わせます
電池を入れると、「西暦年」の表示が点滅します。「6. 時計を合わせましょう」の手順①から順に設定してください。

※電池交換の場合は、電池を交換してもメモリーは保持されています。※電池を交換した後は、時計の設定を再度おこなってください。

- または マークが表示されたら、4本同時に電池を交換してください。
- (充電電池をご使用の場合は充電してください。)
- 付属の電池はモニター用ですので、所定の電池使用回数を満たさない場合があります。
- アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素充電電池※を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素充電電池以外は使用しないでください。
- ニッケル水素充電電池は専用の充電器で充電してからご使用ください。
- ご使用済みの電池は、お住まいの自治体のルールにもとづいて正しく処分してください。
- ※ニッケル水素充電電池は、エネループをご使用ください。

6. 時計を合わせましょう

本製品は測定結果を、日付・時刻とともに記録することができます。時計を常時表示させることもできますので、毎日同時刻に測定するなど、日々の健康管理にお役立てください。

- 時計合わせの手順
- 時計は以下の手順で合わせます。
 - ① 西暦年 → ② 月 → ③ 日 → ④ 時 → ⑤ 分 → ⑥ 12/24時間表示 → ⑦ 時計の表示方法
 - を押すたびに時計設定箇所が点滅します。

■ 時計を合わせましょう(電池をはじめて(改めて)入れる場合)
例として「2024年6月10日午前7時30分」に時計を合わせる手順を説明します。

電池を入れると、時計合わせの「西暦年」が点滅しますので、以下①から順に設定してください。

① を押して「西暦年」を合わせます
 を押すたびに数字がひとつずつ大きくなります。設定可能な上限値を超えると始めに点滅した数字にもどります。数字を合わせたら、 を押してください。「西暦年」が確定し、「月」が点滅します。

② を押して「月」を合わせます
 を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら、 を押してください。「月」が確定し、「日」が点滅します。

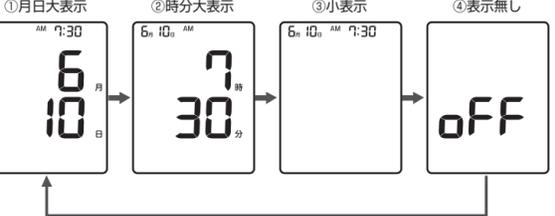
③ を押して「日」を合わせます
 を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら、 を押してください。「日」が確定し、「時」が点滅します。

④ を押して「時」を合わせます
※ AM～午前 PM～午後
 を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら、 を押してください。「時」が確定し、「分」が点滅します。

⑤ を押して「分」を合わせます
 を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら時報などを確認して、 を押してください。「分」が確定し、「12H」または「24H」が点滅します。

⑥ を押して「12/24」時間表示を選びます
 を押すたびに、「12H」と「24H」が切替ります。
●例: 午後1時の場合: ・・12H→PM1:00 24H→13:00
お好みで合わせたら、 を押してください。

⑦ を押して時計の表示方法を選びます
 を押すたびに、時計の表示が順々に切り替わります。お好みの時計の表示方法を選択します。



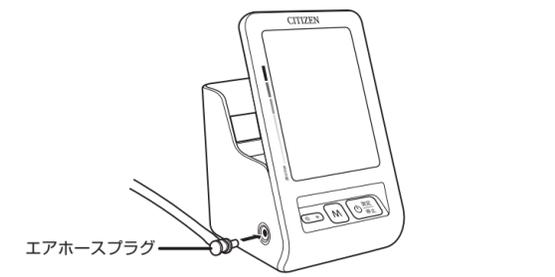
を押して時計の表示方法を確定し、時計設定が終了します。

■ 時計を合わせ直す場合
設定を最後まで終了させた状態で、 を長く(1秒以上)押しください。画面に「西暦年」が点滅しますので、「6. 時計を合わせましょう」の手順①から操作してください。

7. カフ(腕帯)を巻きましょう

○カフ(腕帯)は素肌、もしくは薄い肌着の上から巻いてください。
○厚い上着を着ている場合は、脱いでからカフ(腕帯)を巻いてください。また、衣服などをまくり上げると上腕部が圧迫されて正しく測定できない場合があります。
○腕周囲が22cm未満の方、32cmを超えた方が測定した場合、正しく血圧を測定できない場合があります。

① エアホースプラグをカチッと音がするまで本体に差し込みます



② カフ(腕帯)を左腕に巻きます



③ カフ(腕帯)の青い帯を腕の中心に合わせます



④ カフ(腕帯)を腕にぴったり巻きつけ、面ファスナーで固定します

巻きつけがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく測定できないことがあります。

■ 右腕でも測定できます
右腕で測定するときも青い帯を腕の中心に合わせてください。※血圧は左右で10mmHg程度の差がある場合がありますので、毎回同じ側の腕で測定してください。



